

大正五～九年、多くの方々が本堂建立に向けて寄付をして下さいました。『旭川別院百年史』をもとに、当時飢饉で苦しい生活を強いられていたにもかかわらず、本堂建立にご尽力下さった方々のお名前を紹介したいと思います。(五回目)

※今回だけでは書ききれませんので、数回に分けて記載します。

片山 小ト	亀谷 九郎吉	久世 安次郎	小林 子之七
勝宮 小平	河合 庄太郎	久保 茂平	小林 藤作
加藤 和九	河内 竹松	窪 太三郎	小林 徳松
加藤 喜八	川岸 テイ	久保 田長松	小林 要吉
加藤 弘次	川口 久四郎	窪 田恒作	小松 原治作
加藤 澤次郎	川口 銀次郎	窪 田竹次郎	小柳 覚一
加藤 宗次郎	川口 桑次郎	窪 田吉松	小山 伊吉
加藤 ふく	川口 春蔵	栗 沢 子ヨ	近 藤 惣次郎
加藤 松太郎	川 崎 弥八郎	黒 川 春次郎	才 田 利兵衛
金 田 竜太	川 島 貞治	黒 坂 喜郎	斉 藤 甚之助
金 田 次郎	河 原 市蔵	黒 田 幸次郎	斉 藤 清太郎
金 森 栄次郎	川 辺 モエ	黒 田 要次郎	斉 藤 新太郎
金 山 孫七	川 見 喜代司	黒 田 与作	斉 藤 勇作
蟹 田 幸次郎	川 村 伝右工門	桑 原 政蔵	境 善蔵
蟹 田 松次郎	菊 谷 イト	小 泉 又三郎	堺 栄次郎
金 子 善吉	岸 与三松	小 出 惣太郎	酒 井 岩松
金 子 徳市	北 浦 甚作	小 出 角平	酒 井 弥三郎
金 津 次三郎	北 川 力三郎	河 野 政吉	坂 上 文作
金 津 タケ	北 辻 文吉	小 坂 三三郎	坂 口 幸次郎
金 津 太三郎	北 村 サワ	小 阪 清間	坂 田 豊次郎
壁 地 長太郎	北 村 清之助	越 川 朝人	坂 本 九丞
上 口 亀吉	北 本 治郎松	越 川 百一郎	坂 本 長太郎
紙 谷 伊次郎	北 本 ノブ	五 島 政義	桜 井 サタ
紙 谷 イト	寄 藤 総五郎	越 村 カネ	桜 田 伝平
紙 谷 太一郎	木 村 千代吉	小 城 ナミ	左 近 嘉蔵
紙 谷 与吉	木 元 外次郎	小 須 田 虎蔵	笹 岡 永五郎
亀 井 高次	木 元 与三松	後 藤 善之助	笹 岡 福松
亀 石 子セ	暁 谷 政吉	小 西 太助	
亀 田 吉次郎	日 下 部 静也	小 林 久太郎	

(敬称略)

別院しらべ隊

調査報告書No.10 形となる願い

「別院しらべ隊」によせて

旭川別院本堂等改修委員会
委員長 大谷 博

一昨年5月に院議会にて本堂等改修委員会が承認されて以来、本堂等改修専門委員会設置、募財委員会発足など、院議会をはじめ列座及び関係各位のご協力を得ながらご輪番のご指導の下に準備を進めて参りました。

この度、ご本山の宗務総長より特別懇志募財の承認をいただき、いよいよこれから工事業者入札・募財受付など、改修に向けての事業が本格的に動き出すことに成ります。本堂等改修委員一同、身の引き締まる思いで決意を新たにしているところです。

ご門徒の皆様には、時期的に厳しい状況下ではありますが何卒意の有るところをお汲み取りいただきまして、我々の拠り所である聞法道場の改修という一大事業に是非ともご協力賜りますようこの場をお借りいたしまして伏してお願い申し上げます。

この報告書も10号になりますが、単なる報告に止まらず、今迄の謎を推理し解明するなど実に興味深い内容を含み、毎号を待ち望む思いは私だけでは無い筈です。本事業の意義を理解し推進する上で、この紙面が果たす役割は決して小さいものではないと私は信じて止みません。

最後になりましたが、職務の傍ら編集に取り組む調査員の方々には何時も感服して居り、今後も充実した紙面をご期待致しますと共に心からお礼申し上げます。

旭川別院・宗祖親鸞聖人750回御遠忌記念

本堂等改修工事施工

期間：2010年秋～2012年秋

次号もお楽しみに(*^_^*)

調査員：草部・垣原・横井よ・長尾・高橋
2010年10月1日作成

旭川別院御遷佛法要

9月に封書にてご案内しました通り、2010年11月5日(金)に本堂等改修工事が始まる最初の行事と致しまして御遷佛法要が勤まります。ここでは法要の意味を考えてみましょう。

* 御戸開(巻障子開閉)

報恩講の厳修が終わったことを告げる意味で巻障子が閉じられます。そして、次の御遷佛法要をお迎えする意味で閉じられた巻障子を開きます。

* 勤行(正信偈 同朋奉讃)

御本尊の御移徙(うつす)のお勤めと共に、この後に行われる修復工事にあたり、改めてご信心の喜びを受けつつ、長く親しんできた本堂でみなさんが最も親しんでいる「正信偈」をお勤めします。

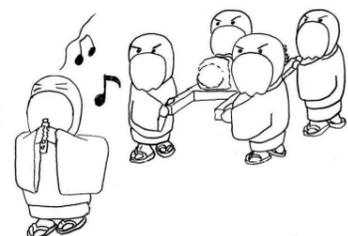
* 園児合唱

御本尊がお移りになるに当たって、お泊まり会や、幼稚園報恩講でお参りしてきた園児たちが小さな手を合わせて歌います。

* 御本尊 移動

御本尊とは「仏さまと人類にとって根本に尊いことを立ち尽くして教えてください」仏さまのことで、御名を阿弥陀如来といいます。

立ち尽くして教えてくださいですから、本来その座を動かすものではありません。しかし、この度90年ぶりの本堂改修のため御移徙いたします。



* 御本尊 安置

御移徙した御本尊をご安置する場所は、仮本堂とはいえ私達の唯一の聞法道場となります。

* 奏楽

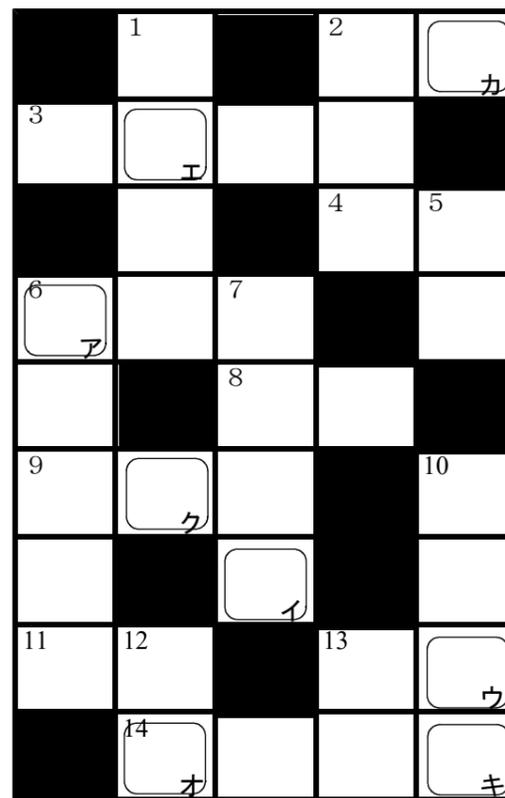
法要で色々な楽器で奏でる雅楽は、浄土に「万種の伎楽あり。その楽の声、清揚哀亮にして、微妙和雅なり」『仏説無量寿経』という法音(声)をこの世に表現したものです。

* 仏説阿弥陀経

『仏説阿弥陀経』は、浄土三部経の一つで『無問自説経』ともいいます。弟子の問いに釈尊が答えるのではなく、仏弟子たちに念仏往生について自ら説かれた経典です。

ちょうさん予備校

今回はクロスワードだよ!

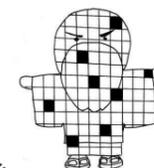


《タテ》

- 1、中心に居られる仏の世界(浄土)観を表したもの
- 2、別院しらべ隊のキャラクター○○○さん
- 5、飛鳥時代の屋根は茅葺きや○○葺きが主流でした
- 6、私たちは○○○○○大谷派の門徒です
- 7、北海道には、旭川を含め6カ所あります
- 10、綽空、善信と名告った時代もありました
- 12、花まつりなどで、可愛い姿を見せてくれます
- 13、雨の日には必要です

《ヨコ》

- 2、私は知識、仏は○○
- 3、浄土真宗の中興の祖
- 4、ヒヒーン!!と鳴きます
- 6、今回はNo.10です。別院○○○隊
- 8、供物は1つではなく○○で使います
- 9、部屋の境の戸、障子、ふすまの下にあります
- 11、自分の家のこと
- 13、旭川別院の大門には見事な○○じし木鼻がほどこされています
- 14、一般によく知られているのは恩徳讃です



ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク

答えは・・・別院で公開中

ご門徒さんからの声

毎日お寺の朝のお参りに来られてるTさんから教えていただいた事ですが、本堂の柱関係は、当時の雨粉の森へ行って、太っとい根っこを辿って大きな太い木を探しだし、その木を切り出してロープや馬(当時は馬そりが往来してたみたいです)で別院まで引っ張ってきたそうです。

また、当時お寺で報恩講等の行事の際には、ご婦人方がお寺の廊下でアメやきなこモチ等の販売が行われて賑わっていたそうです。

現代のように、重機がない時代に大変なご苦労と思います。大勢で一つの事を成し遂げることよっての、達成感という連帯感。他人事とせず自分の事として関わりを持つことで得る共なる喜び、まことに先人達はウンチクをこねるのではなく、行動で私達を御教化くださる事でありました。